

## クラウド時代のワークスタイルのあり方

八塚 裕太郎 コクヨファニチャー株式会社

スマートフォン、SNS、クラウドなど、新しいICTツールが次々と登場しています。これら最新のICTツールを使うと、働き方はどのように変わっていくのでしょうか？

私たちは社内でプロジェクトチームを作り、クラウドツールを活用したワークスタイルの実験を行いました。メンバーには最新のスマートフォントタブレットを配布。働く場所はフリーながら社内SNSやWeb会議を使うことで、お互いの状況をそれとなく把握しながら、仕事を進めていくことができます。実際にこのような環境で働いてみてわかったことは10年前から始まった携帯電話やノートPC、電子メールを基盤としたモバイルワークとは明らかに違う姿でした。

思えばオフィスにPCが導入され始めた20年前、チームのメンバーは机を並べて仕事をしていました。お客様からのお叱りの電話はメンバーに筒抜け、アフター5には飲み屋で慰められる。そんなお互いの状況がしっかりと共有されていたものです。その後、情報化、モバイル化と効率化が進むにつれて、働くメンバーの関係もドライなものになってきたように感じます。ところが最新のICTツールを使ってみると、20年前にあったような、チームの深い関係がもう一度得られるということです。私たちはこれを「ニューディープ」と呼んでいます。社内SNSで「いいね！」を返したり、web会議を使って気軽に相談をしたりといった活用をしています。

もうひとつ、メリットとしてわかってきたのは、ソーシャルネットワークの力です。社内のメンバーだけでなく、社外のメンバーにも気軽に相談しやすい環境が整ってきています。人脈という昔はベテランが持っている目に見えにくいイメージがありましたが、今は若手社員でもSNSを活用して広がっていくことができます。

クラウドツールを使ってどのように働き方を変えていくのか？その答えに私たちは『深輪広縁（しんりんこうえん）』という名前をつけました。「チームの輪をより深めるつながり」と「社外の人との縁を広げるつながり」という意味です。

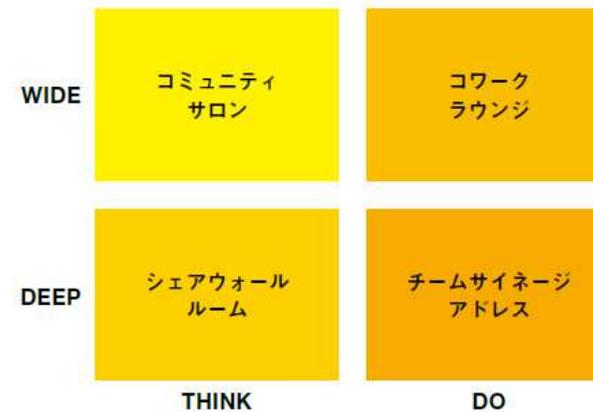
今はまだ、ユーザビリティやセキュリティや費用対効果といった問題が残っていますが、数年のうちに解消されていくはず。クラウドの時代、テクノロジーが私たちのつながり方、働き方ほとんど『深輪・広縁』に向かっていきます。そして今までデスクスペースと会議室で構成されていたオフィスも、その役割を『深輪・広縁』をサポートする場へと変化していきます。皆様も是非、仕事にクラウドの力を活かしてみてください。

最後に具体的なツールをひとつご紹介します。私たちは個人とチームの創造性向上を支援するiPad専用アプリ「te.to.te」を提供しています。これは複数のメンバーで「描く」ことを通じてリアルタイムにコミュニケーションをとりながら共創を実現するツールです。無料です、是非一度お試しください。

「te.to.te」を提供しています。これは複数のメンバーで「描く」ことを通じてリアルタイムにコミュニケーションをとりながら共創を実現するツールです。無料です、是非一度お試しください。



### workplace 対応するオフィス



### ドローイング・コミュニケーション [te.to.te]

Cloud Work Styleを実現するためのプロトタイプとして作られたiPad専用アプリ。ドローイングエリアに描いたアイデアや概念が、ネットワークを通じて他のユーザと同時に同期されるため、離れた場所にいる人同士が情報を共有・編集できるツール。  
<http://www.tetote.io>

